

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第109号（7. 2. 5） 全ての子供たちへの行き届いた教育を目指し、35人以下学級の推 進、教育費の軽減、教育条件の改善を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 中学校の35人学級を早期に実現すること。当面、中学1年生の35 人学級を直ちに実現すること。 2. 市立幼稚園の3年保育実施園を早急に広げること。 3. 教育予算を増額し、学校園教育に係る保護者負担を軽減するこ と。 4. 過大・過密を解消できるよう特別支援学校を更に増設すること。 また、施設・設備を拡充すること。必要に応じてマンツーマン指導体 制を認めるなど、児童・生徒の実情に見合った教員配置を実現させる こと。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 ゆきとどいた教育をすすめる神戸の会 橘 和雄 ほか1名 その他署名者あり（申告数2,221名）</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

2025年2月5日

神戸市会議長あて

陳情者

住所 神戸市中央区

ゆきとどいた教育をすすめる神戸の会

氏名 飯塚 直人 電話

住所 神戸市中央区

ゆきとどいた教育をすすめる神戸の会

氏名 橋 和雄 代表 口頭陳述人

(電話

FAX

すべての子どもたちへのゆきとどいた教育を めざし、35人以下学級の前進、教育費の軽 減、教育条件の改善を求める陳情

陳情趣旨

子どもたちは、明日の神戸を担う地域の宝です。少子化の進行や神戸市からの人口流出が危惧されている今、豊かな学校教育や子育てしやすい街づくりのための方策は喫緊の課題です。このような観点から、神戸市立幼稚園・小学校・中学校・支援学校について次の事項を求めます。

少人数学級は、子どもたちの健やかな成長発達のために必要不可欠な教育条件です。来年度から小学校は全学年で35人学級が実現しますが、中学1年生の少人数学級に限れば、全国の政令市で実施されていないのは、神戸市を含む3団体のみとなっています。小学校4年生までですが、全国的には、小学校高学年や中学校にも大きく広がっています。中学校1年生の少人数学級は、全国の政令市で実施されていないのは、神戸市・大阪市・堺市の3団体のみとなっています。

子どもの家庭における経済格差が教育格差にならないような保護者負担の軽減も行政の大きな課題です。

私たちは、「教育日本一」をめざす神戸市だからこそ、教育条件の改善をいっそう進められるよう以下の項目について陳情します。

陳情事項

1. 中学校の35人学級を早期に実現してください。当面中学1年生の35人学級をただちに実現してください。
2. 市立幼稚園の3年保育実施園を早急に広げてください。
3. 教育予算を増額し、学校園教育にかかる保護者負担を軽減してください。
4. 過大・過密を解消できるよう特別支援学校をさらに増設してください。また、施設・設備を拡充してください。必要に応じてマンツーマン指導体制を認めるなど、児童・生徒の実情に見合った教員配置を実現させてください。

署名提出あり:申告数 222/ 筆